

## 第2回 退院支援・医療介護連携部会報告書

日時	平成30年5月25日(金) 19:00～20:10	
場所	高松市医師会館 2階大会議室	
出席者	■ 吉澤委員長      ■ 松本部長      □ 青木委員      □ 片山委員 ■ 林委員            ■ 多田委員      ■ 田中委員      ■ 辻委員 ■ 永岡委員          ■ 坂東委員      ■ 古川委員      ■ 三宅委員 ■ 和田委員          ■ 濱崎課長(高松市消防局)	12名
事務局	高松市医師会事務局 山地係長、真鍋氏 長寿福祉課 地域包括ケア推進室 徳重室長、長樂係長、横山	5名
議題	1 平成30年度 第1回医療介護連携ミーティングの開催について 2 今後の予定	
結果	<b>1 平成30年度 第1回医療介護連携ミーティングの開催について</b> ◆日時:平成30年7月29日(日)9時30分～12時30分 ◆会場:高松市役所13階大会議室 ◆対象者:医師、歯科医師、地域連携担当者、在宅医療コーディネーター、薬剤師、訪問看護師、PT・OT・ST、MSW、ケアマネジャー、救急隊員、救急の先生(県医師会の広瀬先生にお願いする)等 ◆参加人数:約100人(できるだけ多く) ◆参加案内期間:6月1日～29日〆切(参加状況によって追加案内) ◆内容:在宅医療と救急医療に関するグループワーク ◆事例検討: ○ご意見 ・救急隊からすると、自宅で看取りをするのなら救急車を呼ばない対応ができるのが望ましい ・救急隊の不搬送になった事例はどうか ・ムダな搬送をなくすのではなく、意に反した搬送をなくすようにする ・救急車を呼んだあと、どこに搬送するのかが決まらない場合が困る ・全体で1つではなく、2つくらいのチームに1つの症例をだし、コメンテーターが他のグループから質問等を受けるようにしてはどうか ・参加者の数に合わせて、症例の数を決める(複数の事例) ・辻委員が4事例、古川委員が1事例を紹介 ・辻委員の④の症例は、最近ではあまりない事例なので、なくていいのではないかと ・辻委員の②の症例は、意思決定のあり方、家族の揺れる気持ちにどう対応するかなど、討議するにはよい ・ゴールは、参加した各職種の人が自分がどうしたらいいか、気づきの機会になればいいと思う	

◆グループワーク

- ・司会・進行: 三宅敬二郎先生
- ・コメンテーター: 広瀬先生、委員の方々

**2 今後の予定**

◆第3回 退院支援・医療介護連携部会

日時: 6月22日(金) 19:00~

(第3木曜日が基本開催日とする。平成31年3月については、14日(木)に開催予定)

◆医療介護連携ミーティングの開催計画

- ・第1回医療介護連携ミーティング 7月29日
- ・第2回医療介護連携ミーティング 医師向け
- ・第3回医療介護連携ミーティング 11月18日
- ・第4回医療介護連携ミーティング 2月24日(レクザムホール玉藻)